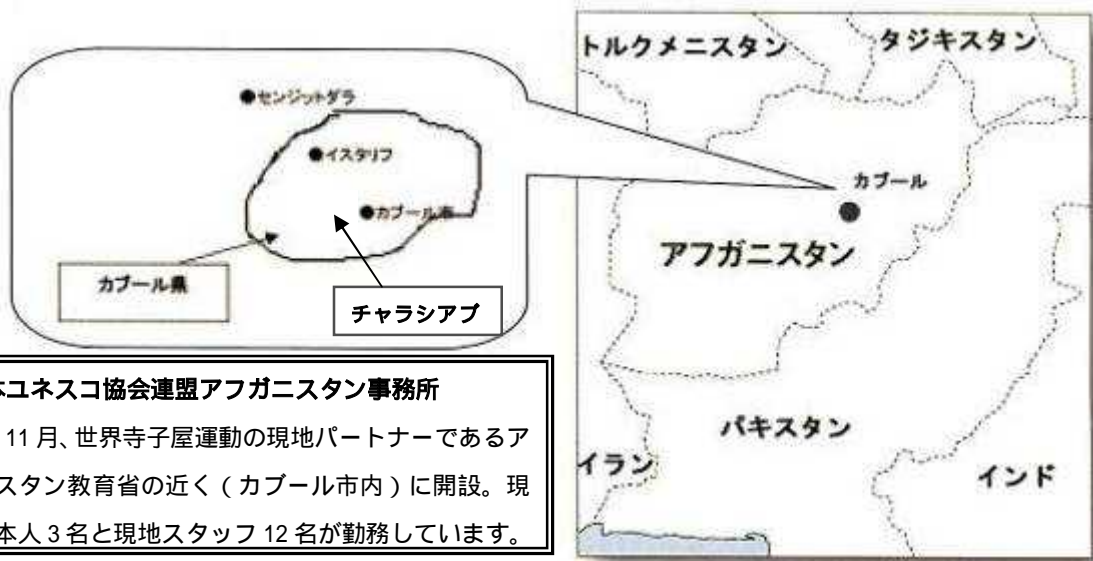


# アフガニスタン 教育支援情報



## 日本ユネスコ協会連盟アフガニスタン事務所

2002年11月、世界寺子屋運動の現地パートナーであるアフガニスタン教育省の近く（カブール市内）に開設。現在、日本人3名と現地スタッフ12名が勤務しています。

## JICA 共同プロジェクト 電気機器の修理クラスを開始！

カブール市内では3カ所で寺子屋“CLC (Community Learning Center)”の事業が行われています。そのひとつ第12地区では最近、電気機器の修理クラスが始まりました。扱う機器は、ラジオやテレビ、CD・DVDプレーヤー、ビデオから衛星放送受信機まで。

最初の3ヶ月で抵抗の測定や変圧の構造、交流電力を直流電力に変換する仕組み（整流器）など、電気に関する基本事項を学習します。その後の6ヶ月間で、さまざまな電気機器の修理方法を学び、実際に故障した機器を修理し、仕事として収入を得られるまでに学習者を育てるというコース編成になっています。

最近の電気機器は部品の機能ごとに基盤となっているので、故障箇所をテスターと呼ばれる機械で発見すれば、あとは市場で取り替え用の基盤を買ってきて取り付ければ修理可能です。そのため、複雑な電気の知識がなくても修理ができます。（とは言うものの、ロシア製のテレビなどは部品がなく、修理ができないそうです。）

17人の青少年（15～20歳中心）が、朝の7時半から9時半まで2人の先生による実習を受講しています。現在は無料のこのクラス、7月からは有料となりますので、本当にやる気のある青少年のみが残ることになります。カブール事務所もこの電気機器のクラスの展開を今後じっくり、ゆっくり見守っていきたいと思います。



過去のアフガニスタン教育支援情報は [こちら](http://www.unesco.jp/afghanistan/topics.htm)  
アフガニスタン事務所のホームページは [こちら](http://www.unesco.jp/afghanistan/index.html)

